

二五五〇番

立ちて思ひおも 居てもそ思ふおも 紅くれなるの 赤裳裾引き
去いにし姿すがたを

二五五一番

思おもひにし 余あまりにしかば すべてをなみ 出いでてそ
行ゆきし その門かどを見みに

二五五二番

心こころには 千重ちへにしくしく 思おもへども 使つかひを遣やら
む すべてしの知らなく

二五五三番

夢いめのみに 見みてすらここだ 恋こふる我あは 現うつに
見みてば ましていかにあらむ